

～ “お・も・て・な・し” で日本経済再生を！！～

ポイント

- “お・も・て・な・し”。今年の「新語・流行語大賞」に選ばれました。“お・も・て・な・し”で実現する観光立国、日本。日本経済再生の重要な要素だと思われます。
- 今年1～9月の訪日外国人旅行者は前年同期比22.4%の伸び、累計773万人。訪日外国人旅行者の増加は大きな経済効果をよぶものと考えられます。
- 特に、日本には、伝統的な文化にプラスして“クールジャパン”と呼ばれる外国人の関心の高い文化があり、インフラが整っており、人口増、中間層の拡大が望めるアジアからも近いという地の利があります。

“お・も・て・な・し”。今年の「新語・流行語大賞」に「じぇいじぇい」、「倍返し」、「今でしょ！」とともに選ばれました。9月の2020年東京五輪の招致プレゼンテーションでも有名になりましたね。

この“お・も・て・な・し”で実現する観光立国、日本。

日本経済再生の重要な要素だと思われます。

現在の日本は、“少子高齢化”の大きな波の中、構造変化を余儀なくされています。経済成長は、人(人口)、物(設備)、金(資本)の関数といわれています。人口が減少する経済では、他の条件が不変であれば、経済成長が鈍化しやすいと思われます。(図表①)

昨年来のアベノミクスに見られる量的緩和政策は、市中のお金を増やす政策です。この政策は、リフレを伴い一時的には好況を呼び込むと考えられますが、持続性については不確かで、今後、成長戦略に移行していくことが期待されます。

そこで、注目したいのは、“お・も・て・な・し”で実現する、“観光立国”です。今年、訪日外国人旅行者は大幅に増加しています。JNTO(日本政府観光局)によれば、今年1～9月の訪日外国人旅行者は前年同期比22.4%の伸び、累計773万人となっており、年間1,000万人を超えるという予想もあります。訪日外国人旅行者の増加は大きな経済効果をよぶと考えられます。

日本には、多くの外国人旅行者を呼び込み、観光立国を実現できる利点があると考えられます。

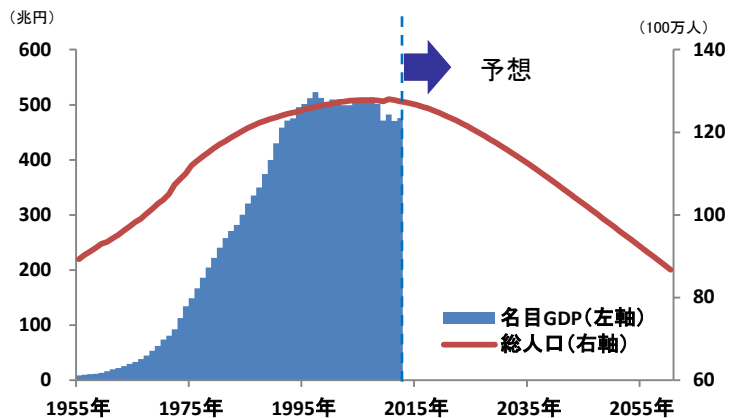
- (1)クール・ジャパンに対する関心の高まり。日本には伝統的な文化のほか、アニメ、マンガ、ファッション、日本食など外国人の注目度の高い文化があること。
- (2)インフラが整っていること。鉄道、高速道路なども整備され、トイレがきれいなどの声が多いといわれていること。
- (3)アジアから距離的に近いこと。人口増で中間層の拡大が望めるアジアからの旅行者の増加が期待されること。(図表②)

訪日外国人旅行者の増加は、日本経済に大きな経済効果をよぶと考えられます。面白いことに、訪日旅行者数と日経平均株価の推移は似通っているようにもみえます。(図表③)。

滝川クリステルさんの“お・も・て・な・し”とともに、“クール・ジャパン”の代表格、きゃりーぱみゅぱみゅ。きゃりーぱみゅぱみゅに「もったいないとらんど」の次に「お・も・て・な・し」という曲でも歌ってもらえたら、さらに、日本への観光誘致に弾みがつかうかもしれませんね！！

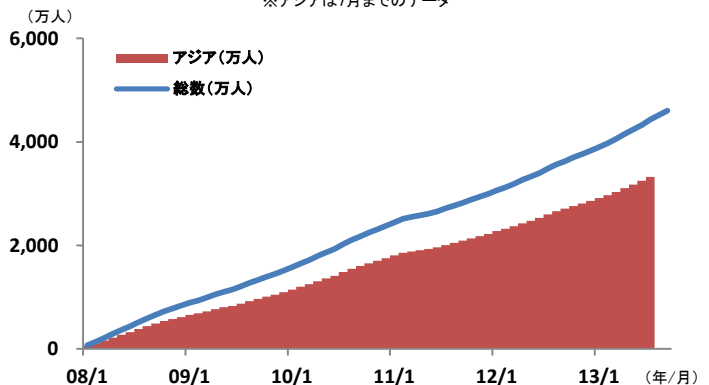
【図表①：日本の総人口と名目GDP(実額)の推移】

(データ期間：1955～2012年、2013年以降の人口は推計、年次)



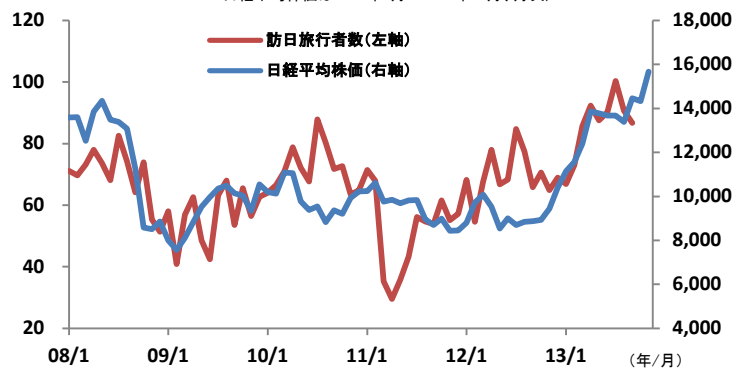
【図表②：訪日外国人旅行者数(総数とアジア)(累計)の推移】

(データ期間：2008年1月～2013年9月、月次)
※アジアは7月までのデータ



【図表③：訪日外国人旅行者数(全体)と日経平均株価の推移】

(万人) (データ期間：訪日外国人旅行者数(全体)2008年1月～2013年9月、日経平均株価は2008年1月～2013年11月、月次) (円)



(出所：図表①、②、③はブルームバーグ、財務省、厚生労働省、総務省のデータよりニッセイアセットマネジメントが作成)

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

〈審査確認番号H25-TB94〉